PASSION FOR THE BEST

大和証券グループ

2018年12月　ESGミーティング

第２部　環境・社会への取組み

株式会社大和証券グループ本社　常務執行役　荻野 明彦

Daiwa Securities Group Inc.

本資料は、資料に記載されている情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2018年12月11日現在で公表可能な情報に基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

PASSION FOR THE BEST

目 次

1 - 大和証券グループの社会的責任・・・・・・・・・・・・・ 3

2 - 中期経営計画～経営戦略としてのSDGs～・・・・ 7

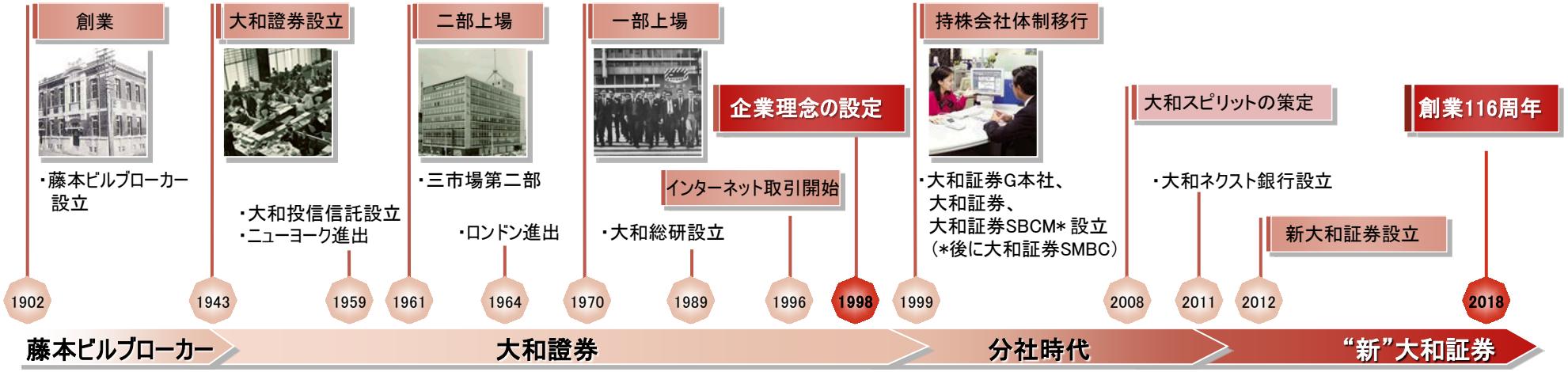
3 – 具体的な取組み事例　・・・・・・・・・・・・ 11

1 - 大和証券グループの社会的責任

Daiwa Securities Group Inc.

大和証券グループのあゆみ

PASSION FOR THE BEST



大和証券グループの企業理念

信頼の構築

お客様からの信頼こそが、大和証券グループの基盤である。 お客様を第一に考える誠実さと高い専門能力により、最も魅力ある証券グループとなる

社会への貢献

金融・資本市場を通じて社会及び経済の発展に資することは、大和証券グループの使命である。法令遵守と自己規律を徹底し、高い倫理観を持って社会の持続的発展に貢献する

大和証券グループ本社
Daiwa Securities Group Inc.

人材の重視

大和証券グループの競争力の源泉は人材である。社員一人ひとりの創造性を重視し、チャレンジ精神溢れる自由闊達な社風を育み、社員の能力、貢献を正しく評価する

健全な利益の確保

健全なビジネス展開を通じて企業価値を高めることは、株主に対する責務である。大和証券グループはお客様に価値あるサービスを提供して適正な利益を獲得し、株主に報いる

企業とCSV・ESG・SDGs　～時代の要請～

PASSION FOR THE BEST

2000年　2003年　2006年　2017年

国連

MDGs（2000～2015年）

PRI（2006年）

SDGs（2015～2030年）

投資家

SRI（社会的責任投資）
1999年エコファンド初登場
2000年頃からSRIという概念が登場

ESG投資
2017年、GPIFがESG投資開始（約1兆円）
世界のESG投資は22.8兆ドル（総運用額の26%、2016年）

英国スチュワードシップ・コード（2010年）

日本版スチュワードシップ・コード（2014年）

企業

CSR（Corporate Social Responsibility）
海外：1990年代後半～、日本：2003年頃～

CSV（Creating Shared Value）
2006年～（マイケル・ポーターが提唱）
「受動的なCSR」から「経済的価値と社会的価値の両立」へ

英国コーポレート・ガバナンス・コード（2010年）

日本版コーポレート・ガバナンス・コード（2015年）

2000年以前：
ISO140001発行（1996年）
京都議定書（1997年）

TCFD最終報告書（2017年）

※ PRI：Principles for Responsible Investment、MDGs：Millennium Development Goals、SDGs：Sustainable Development Goals

大和証券グループのＣＳＲ・ＳＤＧｓに資する取組み

PASSION FOR THE BEST

社会貢献・女性活躍推進・健康経営・働き方改革への取り組み

社会的責任投資（SRI）/インパクト・インベストメントの普及促進　等

SDGsへの取り組み

- 1994：大和証券ヘルス財団設立
- 1994：大和証券福祉財団設立
- 1999：社会貢献室設置
- 2001：「グローバル・エコ・グロース・ファンド」販売開始
- 2001：「ダイワSRIファンド」販売開始
- 2004：女性活躍推進チーム発足
- 2004：女性活躍支援プラン導入
- 2004：プロフェッショナルリターンプラン制度導入
- 2005：大和証券投資信託委託「責任投資原則(PRI)」に署名
- 2006：「クールボンド」・「ダイワ・エコ・ファンド」販売開始
- 2007：貧困問題の解決に寄与する「マイクロファイナンス・ボンド」売出・販売
- 2008：本邦初の国内個人投資家向けインパクトインベストメント証券(ワクチン債)取扱開始
- 2008：ワーク・ライフ・バランス推進委員会設置
- 2008：ワーク・ライフ・バランス推進室設置
- 2008：19時前退社の励行
- 2009：国連グローバル・コンパクトに国内証券会社として初めて加盟
- 2009：地球温暖化問題に取り組むプロジェクトに投資する「グリーン世銀債」販売
- 2010：短時間勤務制度導入
- 2014：本邦初の上場ヘルスケア施設特化型REIT「日本ヘルスケア投資法人」設定
- 2014：45億人のBOP層を支援する「インクルーシブ・ビジネス・ボンド」販売
- 2014：女性向けキャリア支援研修開始
- 2015：「健康経営銘柄」選定（2015～2018）
- 2015：「なでしこ銘柄」選定　（2015～2018）
- 2015：CHO(Chief Health Officer)設置
- 2015：健康経営推進課設置
- 2016：KA・RA・DAいきいきプロジェクト開始
- 2016：営業職の再雇用年齢上限撤廃
- 2017：本邦初のESG投資上場投資信託を設定
- 2017：「えらべる預金」開始
- 2018～：国内証券として初めて気候財務関連情報開示タスクフォース(TCFD)支援に署名
- 2018～：SDGs推進委員会設置
- 2018～：SDGs推進室設置
- 2018～：Passion for SDGs 2018 ～大和証券グループSDGs宣言～
- 2018～：「夢に向かって！こどもスマイルプロジェクト」開始

1972 ~ 1994 ~ 1999 ~ 2001 ~ 2004 2005 2006 2007 2008 2009 2010 ~ 2014 2015 2016 2017 2018～

米国発CSR的思考の発祥

日本におけるCSR黎明期

SDGsの普及

2 - 中期経営計画～経営戦略としてのSDGs～

Daiwa Securities Group Inc.

企業に求められるもの：共通価値の創造

PASSION FOR THE BEST

Creating Shared Value

＜共通価値（CSV）の概念＞
企業が事業を営む地域社会や経済環境を改善しながら、自らの競争力を高める方針とその実行

（出所）Mark Kramer、Creating Shared Value In Action - FSGより大和証券グループ本社作成

経営戦略としてのSDGs　～Passion for SDGs～

PASSION FOR THE BEST

共通価値（Shared Value）創造のサイクル

大和証券グループのステークホルダー

お客様	株主・債権者	社員	地域・社会

経済的価値の創出

「社会的課題の解決」に取り組み

「新たなお客様ニーズ」を開拓

社会的価値の創出

豊かな社会・国民生活の実現に貢献する大和証券グループ

SDGs（持続可能な開発目標）への取り組み

持続可能な社会を創る事業の推進

大和証券グループのアプローチ

- SDGs×"金融"
- SDGs×"地方"
- SDGs×"テクノロジー"
- SDGs×"ライフ"
- ⋮

SDGs推進委員会の設置

【委員長】 CEO中田　誠司
【社外委員】
　蟹江　憲史（かにえ　のりちか）氏
　薗田　綾子（そのだ　あやこ）氏
　森澤　充世（もりさわ　みちよ）氏

- SDGsに関する最先端の情報収集
- グループ横断的な対応の検討
- SDGs推進室を新設

全社員への浸透

- ワークショップ開催
- 社内コミュニケーションツールの活用
- SDGsの取り組みに関する社内公募

Passion for SDGs 2018

～大和証券グループＳＤＧｓ宣言～

大和証券グループは、2015年に国連にて採択された「ＳＤＧｓ（Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標））」を、世界を牽引する重要な目標と捉え、当社グループビジネスを通じ、企業の経済的価値の追求と社会的課題の解決を両立することで、豊かな社会と国民生活の実現に積極的に取り組んでまいります。

●共通価値の創造

さまざまなお客様のニーズに対応した幅広いサービスを提供する総合証券グループとして、既成概念にとらわれない柔軟な発想で社会的課題の解決に取り組むことにより、企業としての経済的価値と社会的価値を同時に創造していきます。

●ステークホルダーとのパートナーシップ

国、企業、投資家等を繋げる役割を担う当社グループの特徴を活かし、各ステークホルダーとのパートナーシップを通じて幅広い社会的課題解決への貢献を目指します。

●多様な人材の育成と働き方の実現

ワーク・ライフ・バランスの推進、女性やベテラン層の活躍支援を始め、性別や年齢を問わず全ての社員が働きがいを感じ、能力を最大限発揮できる環境を作ることで、多様な人材の育成及び働き方の実現に取り組んでいきます。

●認知度向上と浸透

金融・資本市場の担い手として、全役職員へＳＤＧｓの理解、浸透を図ると共に、当社グループビジネスを通じてお客様のＳＤＧｓへの認知度向上に貢献していきます。

SDGs（Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標））とは

2015年9月の国連サミットで採択された2030年までの国際目標。持続可能な世界を実現するために、17のゴール・169のターゲットを掲げています。途上国だけではなく、日本も含む先進国の在り方を問い、その取組みの過程で“地球上の誰一人として取り残さない（No one will be left behind）”ことを誓っていることが特徴です。

3 – 具体的な取組み事例

Daiwa Securities Group Inc.

これまでのSDGsに資する主な取組み

PASSION FOR THE BEST

インパクト・インベストメントへの取組み

個人向けインパクト・インベストメント債券の

国内市場における大和証券シェア：52%（大和証券調べ　2018年3月末時点累計）

- **ワクチン債**
  ・・・途上国の子供たちにワクチンを配布
- **ウォーターボンド**
  ・・・水問題に取組む企業等をサポート
- **グリーンボンド**
  ・・・環境に配慮した対応を行なう企業等をサポート
- **インクルーシブ・ビジネス・ボンド**
  ・・・BOP層の人々の生活向上に役立つビジネスを支援

＜直近の主な実績＞

	発行体	資金使途
2016年度	クレディ・アグリコル・CIB	環境にやさしい経済・社会の発展に貢献する企業・プロジェクトへの融資
	中米経済統合銀行	中米地域における気候変動の緩和と適応に関連するプロジェクトを支援
2017年度	アジア開発銀行	アジア・太平洋地域における気候変動への対応
	東京都	スマートエネルギー都市づくり、自然環境の保全、気候変動への適応等に充当
2018年度	株式会社商船三井	バラスト水処理装置等のグリーンプロジェクトに充当
	住友林業株式会社（CB）	ニュージーランドの山林資産及び関連資産の取得費用の一部のリファイナンス

グリーンボンド発行

グリーンボンド概要

名称	**株式会社大和証券グループ本社 第32回無担保社債（グリーンボンド）**
発行年限	5年
発行金額	100 億円
利率	年0.230%
資金使途	再生可能エネルギー発電プロジェクトへの投融資資金 グリーンビルディングに係る設備資金
取得格付	A　（株式会社格付投資情報センター） A＋　（株式会社日本格付研究所）

Green Bond Principles (グリーンボンド原則)

The Green Bond Principles

事務局
- 国際資本市場協会 (ICMA)

- 調達資金の使途
- プロジェクトの評価と選定のプロセス
- 調達資金の管理
- レポーティング

SDGsとイノベーション

SDGs × イノベーション

経済価値の創出

4つの経済システム※における
SDGs市場機会創出
年間
12兆ドル

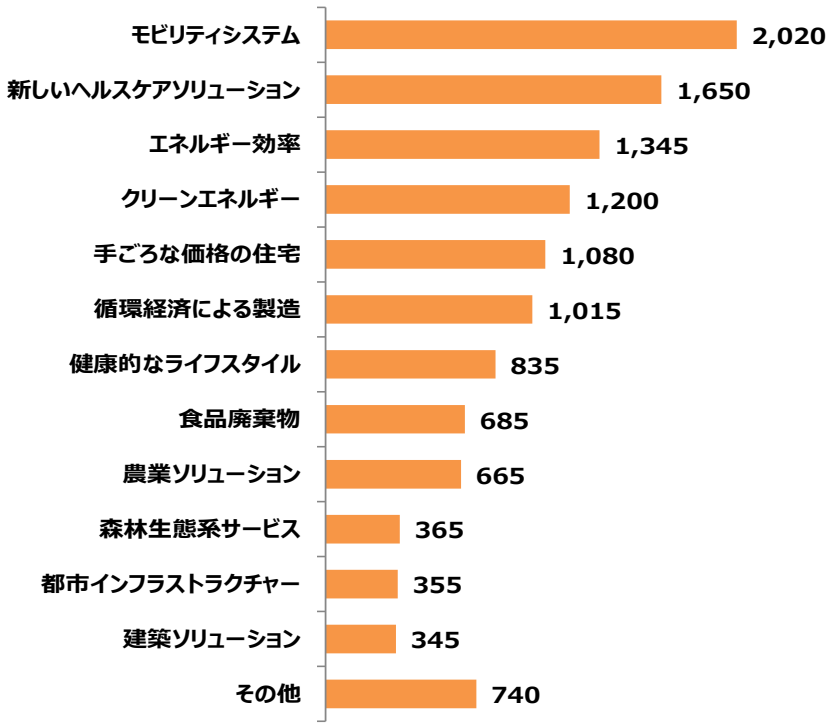
グローバル目標を達成するために
必要な投資額
年間
5兆ドル~

グローバル目標を達成することによる
2030年までの雇用創出
約3.8億人

※4つの経済システム：「食料と農業」、「都市」、「エネルギーと材料」、「健康と福祉」

2030年の分野別市場規模

（単位：10億米ドル、2015年の数値）



（出所）the Business & Sustainable Development Commission"Better Business, Better World"より大和証券グループ本社作成

新たな事業領域の創造

PASSION FOR THE BEST

FinTech新会社の設立

次世代金融サービスの創出に向けた新会社

Fintertech

株主 大和証券グループ本社 (100%) 資本* 8億円 *資本準備金含む

設立 2018年4月

Finance × Entertainment × Technology

- 証券・金融ビジネスのノウハウ
- 最先端のテクノロジー
- デジタルチャネル

事業領域例

ブロックチェーン、クラウドファンディング等

エネルギー新会社の設立

再生可能エネルギーやインフラへの投融資を行う

大和エナジー・インフラ

株主 大和証券グループ本社 (100%) 資本* 10億円 *資本準備金含む

設立 2018年7月

再生可能エネルギー

太陽光 / バイオマス / 風力 / 水力

交通インフラ

道路 / 鉄道 / 空港 / 港湾

その他インフラ

上下水道 / 庁舎 スタジアム / 環境 リサイクル

資源等

山林 立木

事業を通じて、「持続可能な開発目標」（SDGs）に貢献

新たな事業領域の創造

PASSION FOR THE BEST

農業ビジネス新会社の設立

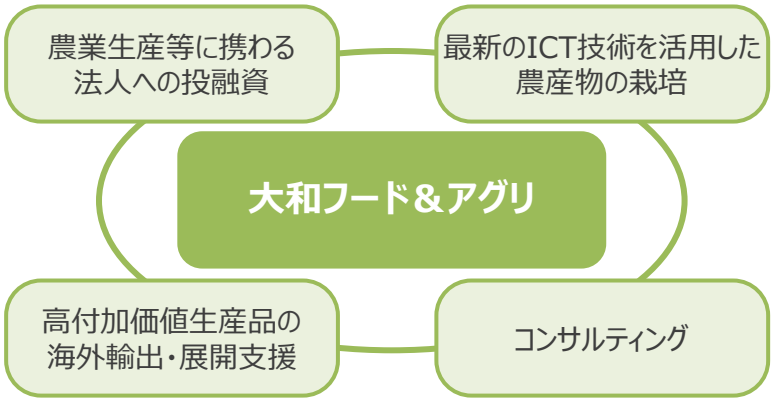
農業・食料分野を取巻く社会課題解決を目指す新会社

大和フード＆アグリ

株主 大和証券グループ本社（100%） 資本* 2億円 *資本準備金含む

設立 2018年11月

- 農業ビジネスが抱える課題の解決や我が国の食料自給率の向上に向け、農業セクターへリスク性資金を供給
- 「新しい農業ビジネス」の立上げや農業ビジネスの事業拡大をサポート



事業承継ファンドの設立

- 中小企業の後継者問題は深刻化
- 中小企業経営者の平均年齢は60歳代後半となっており、今後10年程度における事業承継ニーズは、急速に高まる
- 親族内外問わず幅広い承継ニーズにお応えする為、サポート体制を充実

M＆A

- 事業拡大
- 企業の技術/価値の継承
- 雇用確保

資産承継コンサルティング

- 自社株承継コンサルティング
- 財産承継コンサルティング

＋

事業承継ファンド

- 中小企業の事業承継投資で実績のある外部業者と連携し、ファンドを設立
- 事業承継候補先にファンドが加わることで、お客様へ円滑なサポートを提供

事業を通じて、「持続可能な開発目標」（SDGs）に貢献

SDGsを通じた人材の活用

PASSION FOR THE BEST

社員に対してSDGsへの取組みを周知し、積極的に取り込むことで、将来の大和証券グループを担う世代に「責任」と「やりがい」を感じさせる

中期経営計画“Passion for the Best” 2020における「働きがい」改革の取組み

強靭な経営基盤 ＋ 116年のDNA

SDGsへの取り組み

イノベーションへの取り組み

生産性向上

付加価値の高い業務への挑戦

ナレッジ ↑

テクニック ↑

マインド ↑

お客様・社会への貢献

SDGsの社内浸透

タテ・ヨコのコミュニケーション体制

SDGs推進連絡会	SDGs推進ﾜｰｷﾝｸﾞｸﾞﾙｰﾌﾟ
■ 部室店において、SDGsに資する取組みを抽出 ■ 当社グループとしての優先順位を検討	■ 社内公募（有志） ■ 当社グループが今後取り組むべき事項を提言として纏める

現場の社員自らがSDGsに関するアクションプランを策定

従業員満足度の向上 ＋ **優秀な次世代人材の獲得**

Appendix

Daiwa Securities Group Inc.

環境への取組み

PASSION FOR THE BEST

環境ビジョン

大和証券グループは、かけがえのない地球環境を将来世代へ引き継ぐため、本業である金融機能を活用して貢献する。

環境理念

私たちは、21世紀の持続可能な社会の形成に向けて、「地球温暖化の防止」「資源の循環的な利用」「生態系の保全」等の重要性を認識し、「金融業務を通じた環境課題解決への貢献」に努めるとともに、企業市民としても、継続的に環境負荷低減に努めます。

環境基本方針

1.本業を通じた環境への取組み
低炭素社会、循環型社会、共生型社会の実現に向け、金融商品・サービスの開発・提供に努めます。

2.環境管理態勢の整備・運営
環境管理態勢を整備し、環境活動の継続的改善に努めます。また、環境教育、啓発活動を実施し、社員の環境保全意識の向上に努めます。

3.省資源・省エネルギー・生態系保全への取組み
省資源、省エネルギー技術やシステムの導入、効率的な利用（業務の効率化も含む）の推進に努めます。また、節水、リデュース（廃棄物等発生抑制）、リユース（再使用）、リサイクル（再生利用）に取り組み、循環型社会の実現への貢献に努めます。さらに、生物多様性への配慮、環境との共生等を目指し、グリーン調達の推進等に努めます。

4.環境コミュニケーションの推進
環境に関する情報の積極的な開示に努めるとともに、お客様をはじめ、社会との幅広いコミュニケーションを図り、取引先、地域コミュニティ、NGO・NPO等との連携と協働に努めます。

5.環境関連法規制等の遵守
環境関連法令・規則をはじめ自社の環境方針等を遵守し、環境保全に努めます。

株式会社大和証券グループ本社（2012年5月22日）

CO_2排出削減について

- **CO_2排出量**
  国内事業拠点における2017年度
  CO_2排出量は前年度比約6.0%減少
- **CO_2排出量削減目標**
  前年度比1%（国内連結ベース）の
  減少目標

環境負荷低減に向けた2018年度の目標

- エコカーの継続的な導入
- 使用電力削減に向けた取組み
  2009年度比で10%以上削減（2020年度時点）
  2009年度比で20%以上削減（2030年度時点）
  ※いずれも単位面積あたり
- 環境関連データの把握力・分析力の向上
- トップランナー製品の導入

すべての社員が「働きがい」を感じられる企業を目指して

PASSION FOR THE BEST

2017年以降、新たに実施した人事施策の例

- **女性活躍支援：**不妊治療での在宅勤務が可能な制度等「Daiwa ELLE Plan」を設置
- **若手社員の活躍支援：**「奨学金返済サポート制度」の導入
- **仕事と育児の両立支援：**保育園の施設情報等、保育園入園をサポートする「保活サポートデスク」の設置
- **仕事と介護の両立支援：**介護休職制度の拡充、「介護コンシェルジュ」の導入、在宅勤務制度の導入など
- **仕事とがん治療の両立支援：**「ガンばるサポート　～がん就労支援プラン～」の導入
- **障がい者活躍支援：**「Daiwa LEAP Plan」を導入

ワーク・ライフ・バランス（WLB）の推進・健康経営の推進

日比野会長、中田社長を
共同委員長とする
「ワーク・ライフ・バランス委員会」を発足

KA・RA・DA いきいきプロジェクト *Healthy Lifestyle*

社員の健康づくりを促進

女性活躍に関する2020年度までの目標（大和証券）

（大和証券：2015年12月設定）

- 女性管理職比率：
  2005年度比で5倍強となる15%以上(11.6%)
- 新卒採用における女性採用比率：
  安定的に50%(50%*)
- 研修受講者に占める女性比率：50%
- 年休取得率：70%以上(68%*)
- 男性の育児休職取得率：100%(100%*)

カッコ内は2017年度、2017年度末及び2018年4月時点の実績
*グループ会社を含む（定義の詳細はCSR報告書2018を参照）

主な外部評価

PASSION FOR THE BEST

DJSI World / Asia Pacific

7年連続で採用

MEMBER OF Dow Jones Sustainability Indices In Collaboration with RobecoSAM

米国ダウジョーンズ社・RobecoSAM

FTSE グッド・インデックス

12期連続で採用

FTSE4Good

FTSE4Good

GRESB 2018 "Green Star"

7年連続で獲得（大和証券オフィス投資法人）

GRESB 2018

GRESB Survey

金融サービス企業 男女平等指数

2年連続で選定

2018 Bloomberg Gender-Equality Index

Bloomberg

ESG関連指数

MSCI 日本株女性活躍指数（WIN） MSCI

FTSE Blossom Japan Index FTSE

FTSE Blossom Japan

なでしこ銘柄（女性活躍推進に優れた企業）

4年連続で選定

NADESHIKO BRAND 2018

経済産業省・東京証券取引所

健康経営銘柄

4年連続で選定

2018 健康経営銘柄

経済産業省・東京証券取引所

子育てサポート認定事業主マーク

くるみん / プラチナくるみん 子育てサポートしています

厚生労働省

「仕事と介護を両立できる職場環境」整備促進の為のシンボルマーク

仕事と介護の両立に取り組んでいます

厚生労働省

平成28年度 均等・両立推進企業表彰

社員の仕事と育児・介護の両立を多方面からサポートしていることが評価され**「ファミリー・フレンドリー企業部門」において「厚生労働大臣優良賞」を受賞**

厚生労働省

平成28年度 「女性が輝く先進企業表彰」

女性を積極的に登用するとともに、19時前退社の励行や、仕事と育児・介護の両立支援等に取り組んでいることが評価され、**「内閣府特命担当大臣（男女共同参画）表彰」を受賞**

内閣府男女共同参画局

2017年「女性が活躍する会社 BEST 100」

「女性活躍推進度」部門：3位

女性社員の積極的な登用や、女性が働きやすい会社を目指して様々な取組みを継続的に実施していることが評価され選出

日経WOMAN
日経ウーマノミクス・プロジェクト

就職人気ランキング

総合順位：4位

金融業界：1位

東洋経済オンライン・2019年卒後半

SDGsへの取組み

PASSION FOR THE BEST

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 世界を変えるための17の目標 × “金融”

◆ インパクト・インベストメントの推進

・2018年11月、再生可能エネルギー発電プロジェクト・グリーンビルディングへの投融資資金に充当することを目的として、当社初のグリーンボンド発行を予定

・グリーンボンド・ソーシャルボンド等、SDGsに資する債券の引受・販売
・・・国内事業会社による初の個人投資家向けグリーンボンド、「株式会社商船三井　グリーンボンド」の引受・販売

◆ 「世界インパクト投資ファンド」の販売

Wellington Management Company LLPが運用する同ファンドを、個人投資家向けに販売

◆ 応援定期預金の設定・販売

応援先別に預金を設定。お客様から通常金利の一部を拠出していただき、そこに大和ネクスト銀行が上乗せして応援先にお届け
・・・寄付先　8団体、寄付総額　291万円（2018年9月末時点）

◆ エンゲージメントの強化

アセット・マネジメント部門において、スチュワードシップ活動の深化により、企業価値の向上につながるエンゲージメント活動の強化を図る

◆ ミャンマーの資本市場育成

証券取引所の創設・運営等を通じて、ミャンマーの資本市場育成を支援

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 世界を変えるための17の目標 × “テクノロジー”

◆ 再生可能エネルギー投資

2018年7月、再生可能エネルギーを中心とする投融資の更なる推進を目的として、「大和エナジー・インフラ(株)」を新設

◆ FinTechの活用

2018年４月、次世代金融サービスの創出に向けた新会社、Fintertechを設立

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 世界を変えるための17の目標 × “地方”

◆ 地域イベントへの協賛

全国各地の地域イベントへの協賛を通じ、地域活性化に貢献

◆ 事業承継への取組み

事業承継を課題とする国内の中小企業に対してソリューションを提供

◆ IPOを通じた地域経済活性化

Daiwa Innovation Network (DIN) など、グループの国内ネットワークを活かし、IPO案件を発掘。地方から上場会社を生むことで、地方経済の活性化に貢献

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 世界を変えるための17の目標 × “ライフ”

◆ 子どもの貧困問題への取組み

「大和証券グループ 輝く未来へ こども応援基金」を創設し、5年間で当社グループから総額1億円程度の寄付を想定

◆ ワーク・ライフ・バランスへの取組み

多様な人材が、「働きがい」を感じながら活躍できるよう、高次元のワーク・ライフ・バランスを実現
・・・営業員の雇用上限年齢の廃止、奨学金返済サポート制度の導入等

◆ 大和証券福祉財団

1994年3月から、高齢者・児童等への支援活動等のボランティア活動を行なっている団体・グループに対して毎年助成を実施（災害ボランティア含む）
・・・ボランティア活動への助成件数　3,687件、助成総額　9億2,093万円
（2017年度までの累計）

◆ ヘルスケア会社の子会社化

2018年10月、ACAヘルスケア株式会社を子会社化、国内外の病院、介護事業への投資等、ヘルスケア関連分野への本格参入を行なう

PASSION FOR THE BEST

大和証券グループ本社　IR室
TEL: 03-5555-1300　FAX: 03-5555-0661
E-mail: ir-section@daiwa.co.jp
URL: http://www.daiwa-grp.jp/ir/